

課題

【小・算数】「速さ」の意味の理解が不十分

手立て

「速さ」の特性と関連して理解を図る

具体例

POINT① 「時間」と「距離」が必要な量であることの理解

◎ 「速さ」は基本的な量の性質をもっていない量

- 「速さ」を調べるには、「時間」と「距離」が必要であることを、児童自身に気付かせる素材の工夫
 (例) 短距離走のタイムだけを比較。話の齟齬から、距離が異なっていることに気付かせ、「時間」と「距離」が必要であることを気付かせる。



- 速さを求めるために必要な量を、児童自身が自分で調べる場の設定

- (例) 異なる路線を走る新幹線の速さを比較。
時刻表などからかかる時間と距離を自分で調べ、求める。



POINT② 「時間」と「距離」が比例関係にあることの理解

- 比例関係にあることを、児童が理解しやすいツールを使う。

☆ 同じ速さで移動したときの「時間」と「距離」

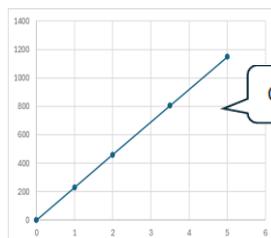
時速 230 km で走る新幹線があります。この新幹線が 2 時間走り続けると、何 km 進みますか。また、3 時間 30 分、5 時間では、それぞれ何 km 進みますか。

- ・ 表にまとめる。

時間 (時間)	1	2	3.5	5
距離 (km)	230	460	805	1150

時間が 2 倍になれば距離も 2 倍、
時間が 3.5 倍になれば距離も 3.5 倍、
時間が 5 倍になれば距離も 5 倍になる。

- ・ グラフにまとめる。



0 を通る直線になる。

どちらも比例の特徴が表れているね!

同じ速さで移動したときの「時間」と「距離」の関係は、比例である。

※ 比例のグラフについては、6 年で学習する。
5 年の学習では、表を活用して比例関係の確認ができる。